

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通学・通信）

事業者名：学校法人三幸学園

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画			
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数		実施内容	
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解	6時間	1 職務の理解	
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	3	(1) 講義及び演習：介護保険や介護保険外のサービスを含め地域の身近なサービスについて講義し、DVDを使用して利用者像のイメージを持たせる。演習では介護保険と介護保険外のサービスについてグループ討議し、その後発表する。	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3	(2) 講義のみ	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	6	(1) 講義及び演習：人権の歴史的背景について講義し、演習にて「尊厳」とは何かについてグループ討議し、その後発表する。	
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	3	(2) 講義及び演習：介護にとっての自立・自律支援についてグループ討議し、その後発表する。	
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本	6時間	3 介護の基本	
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	3	(1) 講義のみ	
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	0.5	(2) 講義のみ	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	2	(3) 講義及び演習：安全について講義し、演習にて生活障害における心理行動の特徴とケア方法を利用者役と介護者役に分かれてロールプレイ学習する。	
(4) 介護職の安全		(4) 同左	0.5	(4) 講義のみ	

別記第1号の2様式

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 11時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 260 781 347">(1) 介護保険制度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 347 781 459">(2) 障害者総合支援制度及びその他制度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 459 781 539">(3) 医療との連携とリハビリテーション</td> </tr> </table>	(1) 介護保険制度	(2) 障害者総合支援制度及びその他制度	(3) 医療との連携とリハビリテーション	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="815 260 1442 347">(1) 同左</td> <td data-bbox="1361 260 1442 347">6</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 347 1442 459">(2) 同左</td> <td data-bbox="1361 347 1442 459">2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 459 1442 539">(3) 同左</td> <td data-bbox="1361 459 1442 539">3</td> </tr> </table>	(1) 同左	6	(2) 同左	2	(3) 同左	3	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1442 260 2098 347">(1) 講義のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 347 2098 459">(2) 講義及び演習：障害者総合支援法への移行と制度の概要、および介護職の医行為についての講義し、演習では介護職が行える医行為についてグループ討議し、その後発表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 459 2098 539">(3) 講義のみ</td> </tr> </table>	(1) 講義のみ	(2) 講義及び演習：障害者総合支援法への移行と制度の概要、および介護職の医行為についての講義し、演習では介護職が行える医行為についてグループ討議し、その後発表する。	(3) 講義のみ				
(1) 介護保険制度																		
(2) 障害者総合支援制度及びその他制度																		
(3) 医療との連携とリハビリテーション																		
(1) 同左	6																	
(2) 同左	2																	
(3) 同左	3																	
(1) 講義のみ																		
(2) 講義及び演習：障害者総合支援法への移行と制度の概要、および介護職の医行為についての講義し、演習では介護職が行える医行為についてグループ討議し、その後発表する。																		
(3) 講義のみ																		
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 611 781 699">(1) 介護におけるコミュニケーション</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 699 781 778">(2) 介護におけるチームのコミュニケーション</td> </tr> </table>	(1) 介護におけるコミュニケーション	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="815 611 1442 699">(1) 同左</td> <td data-bbox="1361 611 1442 699">3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 699 1442 778">(2) 同左</td> <td data-bbox="1361 699 1442 778">3</td> </tr> </table>	(1) 同左	3	(2) 同左	3	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1442 611 2098 699">(1) 講義のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 699 2098 778">(2) 講義及び演習：高齢者に多い疾患について講義し、演習では利用者の訴えや生活上の留意点についてグループ討議し、その後発表する。</td> </tr> </table>	(1) 講義のみ	(2) 講義及び演習：高齢者に多い疾患について講義し、演習では利用者の訴えや生活上の留意点についてグループ討議し、その後発表する。								
(1) 介護におけるコミュニケーション																		
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション																		
(1) 同左	3																	
(2) 同左	3																	
(1) 講義のみ																		
(2) 講義及び演習：高齢者に多い疾患について講義し、演習では利用者の訴えや生活上の留意点についてグループ討議し、その後発表する。																		
6 老化の理解 6時間	6 老化の理解 6時間	6 老化の理解																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 850 781 938">(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 938 781 1018">(2) 高齢者と健康</td> </tr> </table>	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	(2) 高齢者と健康	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="815 850 1442 938">(1) 同左</td> <td data-bbox="1361 850 1442 938">3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 938 1442 1018">(2) 同左</td> <td data-bbox="1361 938 1442 1018">3</td> </tr> </table>	(1) 同左	3	(2) 同左	3	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1442 850 2098 938">(1) 講義のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 938 2098 1018">(2) 講義及び演習：高齢者の健康上の諸問題について講義し、演習にて日常生活支援全般についての留意点について、各自でまとめたものをグループ討議し、その後発表する。</td> </tr> </table>	(1) 講義のみ	(2) 講義及び演習：高齢者の健康上の諸問題について講義し、演習にて日常生活支援全般についての留意点について、各自でまとめたものをグループ討議し、その後発表する。								
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常																		
(2) 高齢者と健康																		
(1) 同左	3																	
(2) 同左	3																	
(1) 講義のみ																		
(2) 講義及び演習：高齢者の健康上の諸問題について講義し、演習にて日常生活支援全般についての留意点について、各自でまとめたものをグループ討議し、その後発表する。																		
7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 1090 781 1169">(1) 認知症を取り巻く状況</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 1169 781 1249">(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 1249 781 1329">(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 1329 781 1410">(4) 家族への支援</td> </tr> </table>	(1) 認知症を取り巻く状況	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	(4) 家族への支援	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="815 1090 1442 1169">(1) 同左</td> <td data-bbox="1361 1090 1442 1169">0.5</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1169 1442 1249">(2) 同左</td> <td data-bbox="1361 1169 1442 1249">2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1249 1442 1329">(3) 同左</td> <td data-bbox="1361 1249 1442 1329">3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1329 1442 1410">(4) 同左</td> <td data-bbox="1361 1329 1442 1410">0.5</td> </tr> </table>	(1) 同左	0.5	(2) 同左	2	(3) 同左	3	(4) 同左	0.5	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1442 1090 2098 1169">(1) 講義のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 1169 2098 1249">(2) 講義及び演習：認知症の医学的定義と治療、薬物療法、認知症に使用される薬物について講義し、認知症と「物忘れ」の違いについてグループ討議し、その後発表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 1249 2098 1329">(3) 講義及び演習：認知症の生活障害・心理・行動の特徴について講義し、認知症の問題行動についてグループ討議し、その後発表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 1329 2098 1410">(4) 講義のみ</td> </tr> </table>	(1) 講義のみ	(2) 講義及び演習：認知症の医学的定義と治療、薬物療法、認知症に使用される薬物について講義し、認知症と「物忘れ」の違いについてグループ討議し、その後発表する。	(3) 講義及び演習：認知症の生活障害・心理・行動の特徴について講義し、認知症の問題行動についてグループ討議し、その後発表する。	(4) 講義のみ
(1) 認知症を取り巻く状況																		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理																		
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活																		
(4) 家族への支援																		
(1) 同左	0.5																	
(2) 同左	2																	
(3) 同左	3																	
(4) 同左	0.5																	
(1) 講義のみ																		
(2) 講義及び演習：認知症の医学的定義と治療、薬物療法、認知症に使用される薬物について講義し、認知症と「物忘れ」の違いについてグループ討議し、その後発表する。																		
(3) 講義及び演習：認知症の生活障害・心理・行動の特徴について講義し、認知症の問題行動についてグループ討議し、その後発表する。																		
(4) 講義のみ																		

別記第1号の2様式

8 障害の理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	

8 障害の理解	4時間
(1) 同左	1
(2) 同左	2
(3) 同左	1
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	78時間
ア 基本知識の学習	12時間
(1) 同左	6
(2) 同左	3
(3) 同左	3
イ 生活支援技術の講義・演習	54時間
(4) 同左	6
(5) 同左	6
(6) 同左	6
(7) 同左	6
(8) 同左	6
(9) 同左	6

8 障害の理解	
(1) 講義のみ	
(2) 講義及び演習: 医学的・心理・行動の特徴や支援について講義し、ICFについてグループ討議を行い、その後発表する。	
(3) 講義のみ	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 講義及び演習: 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識、及びそれに伴う安全な介護の方法についてグループ討議する。	
(2) 講義のみ	
(3) 講義及び演習: 人体の各部位の働きについて講義し、ボディ・メカニクスの活用方法を実際に体を動かしながら体得する。	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 講義及び演習: 家事と生活の理解について講義し、演習にて結びの繕いやボタンつけを体験する。	
(5) 講義及び演習: 住環境の基礎知識について講義し、演習にて利用者の身体状況に合わせた環境整備技術について実技演習する。	
(6) 講義及び演習: 整容の意義について講義し、利用者の状況に応じた着脱介助について実技演習する。	
(7) 講義及び演習: 移動・移乗に関するからだのしくみについて講義し、移乗・移動介助について実技演習する。	
(8) 講義及び演習: 食事の意味や環境整備の方法について講義し、食事介助について実技演習する。	
(9) 講義及び演習: 入浴や清潔の意味や環境整備の方法について講義し、全身清拭や部分浴について実技演習する。	

別記第1号の2様式

(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	
(実習)※ (50～55時間中12時間以内)	
介護実習 ○時間	
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間	
在宅サービス提供現場見学 ○時間	
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り 4時間	
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計 (130時間)	

(10) 同左	6
(11) 同左	6
(12) 同左	6
(実習)※ 時間	
ウ 生活支援技術演習 12時間	
(13) 同左	6
(14) 同左	6
10 振り返り 6時間	
(1) 同左	3
(2) 同左	3
計 (138時間)	

(10) 講義及び演習:排泄の意味や環境整備の方法について講義し、排泄の方法について実技演習する。
講義及び演習:睡眠や体位変換の意味や環境整備の方法について講義し、ベッドメイキングや体位変換について実技演習する。
(11) 講義及び演習:生から死の過程、終末期ケアについて講義し、基本的マナーについてグループ討議し、その後発表する。
(実習)※
ウ 生活支援技術演習
講義及び演習:介護過程の目的や意義について講義し、演習にてテキスト中の事例について各自で個別援助計画を作成し、その後グループ討議する。
(13)
講義及び演習:テキスト中の事例に基づき、留意点について講義し、各自で手順のチェックリストを確認後、利用者役と介護者役に分かれて2人一組でロールプレイングによる一連の介護技術を体験する。
(14)
10 振り返り
講義及び演習:介護の要点について講義し、研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことについてグループ討議し、その後発表する。
(1)
講義及び演習:継続的に学ぶべきこと、研修修了後における継続的な研修について講義し、ハローワークでの求人状況や介護事業所等における事例を紹介後、今後のキャリアデザインについてグループ討議し、発表する
(2)

※「9ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。